

1号機使用済燃料プール水浄化 (放射能除去) の実施について

2015年6月25日
東京電力株式会社



東京電力

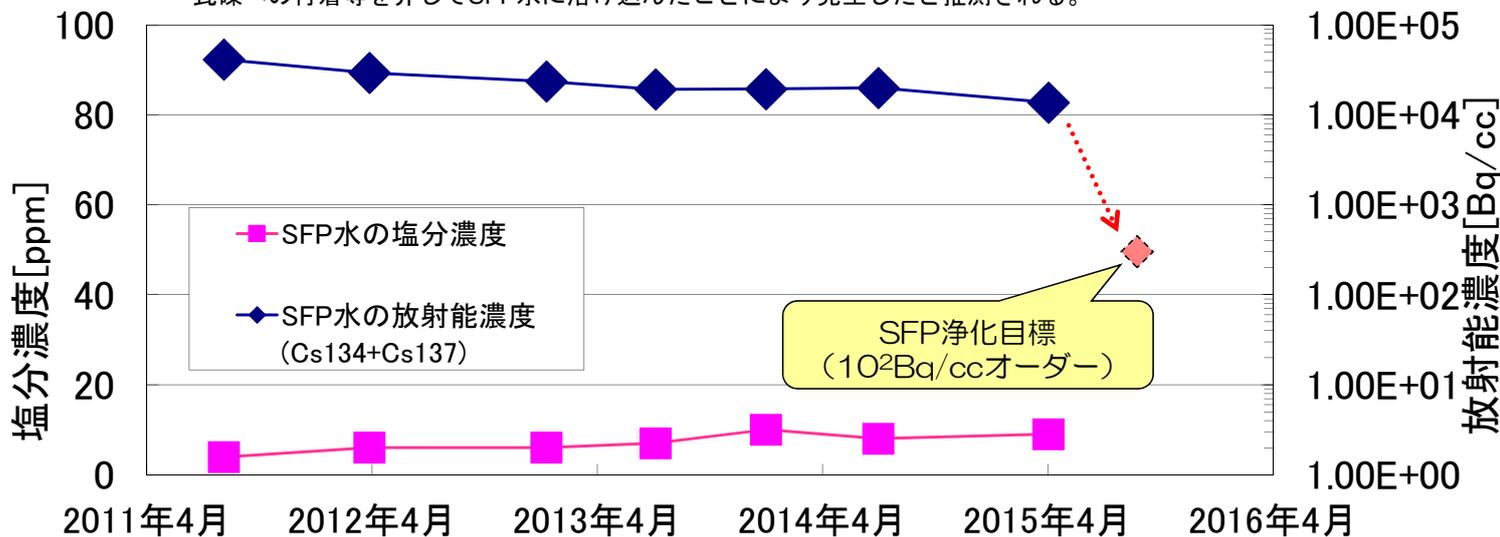
無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

0

1. 背景・目的

- 使用済燃料プール（以下、SFP）ライナ腐食防止のため、これまで、海水を注入した2～4号機SFP水の塩分除去を実施した。
- 1号機SFPは海水注入実績がなく、塩分濃度も十分低いものの、建屋カバー撤去後の風雨等による、**万一の塩分濃度上昇に備える**必要がある。
- 現状、1号機SFP水は放射能濃度が高い※1ことから、**塩分除去が必要となった際の前処理**として、**SFP浄化（放射能除去）**を実施する。

※1 SFP水の放射能濃度上昇は、原子炉由来の放射性核種が、建屋内における蒸気の凝縮水、ダスト、瓦礫への付着等を介してSFP水に溶け込んだことにより発生したと推測される。



<SFP水の塩分濃度及び放射能濃度推移について>



東京電力

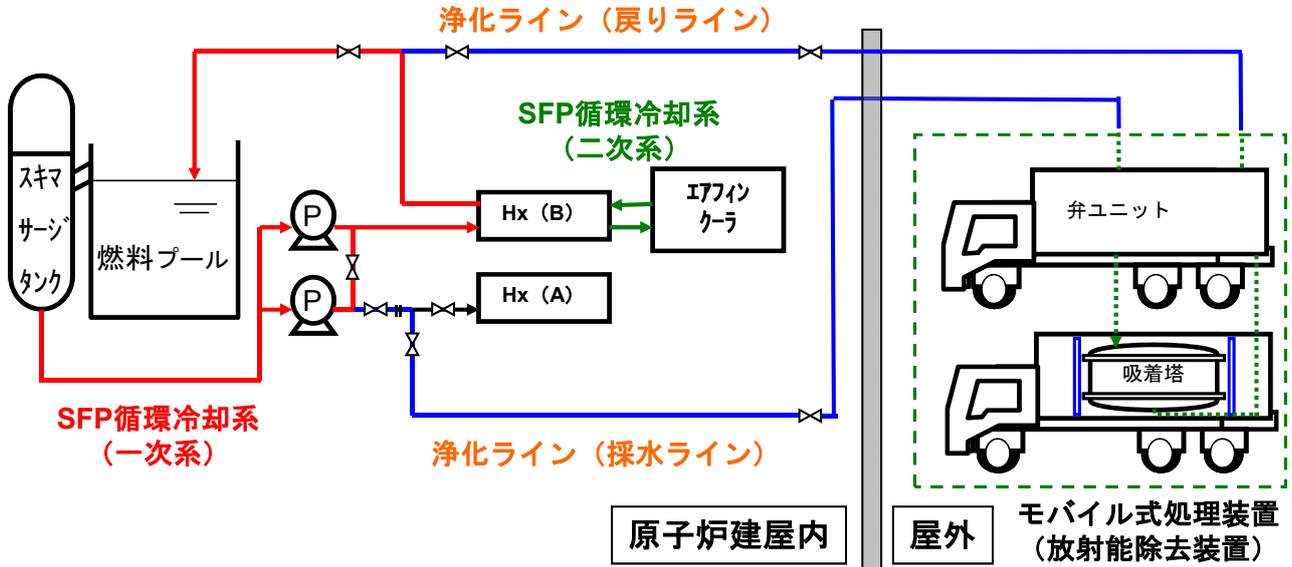
無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

2. 作業概要

- モバイル式処理装置（過去に2,3号機SFP及び海水配管トレンチの浄化に使用したものと同一）を1号原子炉建屋西側に設置。
- SFP循環冷却系（一次系）配管の分岐部から採水したSFP水をモバイル式処理装置により浄化し、再び一次系配管に戻す運転を行う。

SFP浄化の概要



東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

2

3. スケジュール

- スケジュール
 - 2015年6月末より準備作業を開始
 - 使用前検査終了後、SFP浄化運転実施（1ヶ月程度の見込み）
- モバイル式処理装置の出入口水を定期的（3回／週程度）にサンプリングすることにより、浄化状況を確認する。

項目	2015年												
	6月			7月			8月						
準備作業 (装置設置, 配管接続等)													
使用前検査 (時期調整中)													
SFP浄化運転													

※天候や現場状況、検査の実施時期等により、工程は変更となる場合がある。



東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

3